

デジカメで惑星撮影

by 時代遅れの太田

デジカメを購入したのは2001年6月で Nikon COOLPIX 995 である。その後 D70 と P5000 を購入。惑星撮影には 995 と P5000 を用いてきた。それ以前はデジタルビデオの画像をフレーム単位で JPG 保存し、時間をかけて重ねていた。その後画期的な Registax が出現したが、使い方が面倒なので雰囲気で使用していた。その誤った使用方法での画像が98年の木星である。それでも昔に比べれば格段に良くなった。

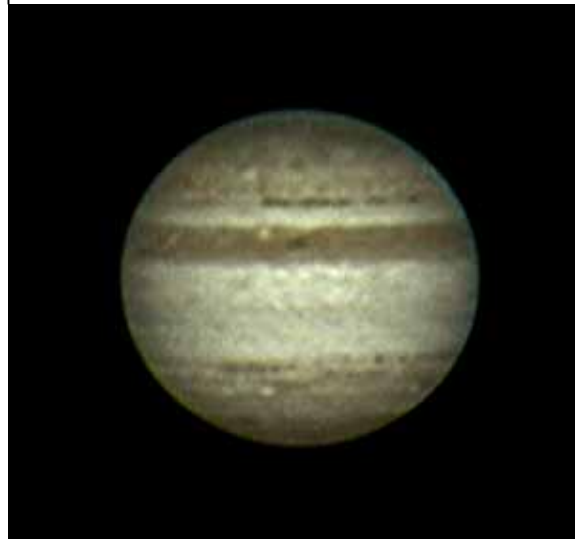
最近ようやく正しい Registax の使用方法が分かったので、この夏の安定した木星画像を処理した。ビデオモードにすると像が暗くなってしまいうようで、13cm 屈折では限界なのか。またデジカメの光学ズームを使用しているが像が粗くなる様に感じる。処理してみると粗さが緩和され滑らかになるが、TOA130 などの投稿画像と比較すると解像度的にこんなものかとショックを受ける。まあカメラそのものが違うし仕方ない。自分的にはこれでも進歩した方であり、納得している。

過去に撮影した静止画でもっとも良かったものは Meade 178ED で撮影した03年の土星である。シーイングと鏡筒の条件が揃った例であり、静止画のコンポジットでこのように凄いものができてしまった。

今は手持ち機材が乏しくデジカメしか無いので、大分に戻るまで暫くの間はデジカメでの撮影で腕を磨こう。

以上

2010-9-11
13cm ED Triplet APO
Nikon COOLPIX P5000
ビデオモード
1450 フレームコンポジット



1998-9-7
20cm シュミカセ
デジタルビデオ
322 フレームコンポジット



2003-9-3
17.8cm ED Doublet APO(借用品)
Nikon COOLPIX 995
ISO400 2秒
34枚コンポジット

